甲斐企第２－２３号
平成28年 ２月 ４日

甲斐市議会
議長　有泉　庸一郎　殿

甲斐市長　保　坂　　武

平成28年度予算編成にむけての要望書について（回答）

決算審査特別委員会での審査を経て、今般、新年度予算編成にあたり具体的な要望をいただきました。

甲斐市は、地方交付税の段階的な削減期間に入り、厳しい予算編成に取り組んでいるところであります。

このため、要望内容によっては、特別な経費を要する事業項目もありますが、御要望の趣旨については十分認識し、効率的な予算編成に努めております。なお、各事業項目に対する考えにつきましては、別紙のとおり対応してまいりますので、御理解と御協力をお願い申し上げ回答と致します。

甲斐市
第２-８号
28.2.-5
収　受
議会事務局

平成28年度予算編成に向けての要望書への回答

1、公共施設の土地の賃借料等について

公共施設の用地につきましては、予算措置が必要な用地もありますが、今後も地権者の意向を適切に確認し、引き続き継続交渉をして参ります。
なお、ご指摘のあった4つの公共施設用地については、次のような状況でありますので、ご理解を願います。

・竜王庁舎職員駐車場（地権者5人：9,927㎡：借地料平成26年度決算額：7,196,400円）につきましては、駐車場を利用する職員から利用料を徴収し、賄っており、一般財源の投入はございません。現在地権者は市に売却する意向がなく、賃貸借契約を望んでいる状況にあります。

・竜王西小学校用地（地権者6人:8,166㎡:借地料平成26年度決算額:6,451,140円）につきましては、毎年地権者との交渉を続けてきておりますが、買収価格について、現在の地価が学校開設時の買収価格を大幅に下回っているため、地権者は、継続賃貸の意向が強く売却交渉に至らない状況にあります。

・竜王中学校テニスコート用地（地権者1人：1,539㎡：借地料平成26年度決算額：908,010円）につきましては、平成31年度末までの賃貸借契約が結ばれておりますので、契約満了時に向け、返却も視野に検討して参ります。

・竜王南部公民館駐車場用地（地権者1人：1,736㎡：借地料平成26年度決算額：1,215,200円）につきましては、地権者と売却についての交渉を続けておりますが、地権者の賃貸継続の意向が非常に強く、売却交渉に至らない状況にあります。

2、玉幡公園総合屋内プール運営費について

現在、指定管理委託期間中でありますが、利用者からは好評をいただいております。次回更新時（平成29年度）に向け、指定管理料を含め、施設維持運営費の検証、また運営方針の検討見直しを、来年度には実施する予定であります。

3、竜王庁舎維持管理事業について

竜王庁舎非常用発電施設の設置場所につきましては、本館は庁舎裏、新館は地下にそれぞれ設置されております。豪雨や釜無川の決壊による庁舎浸水も考えられることから、現在その対策に向け、設計士と検討を行っているところであります。

なお、浸水の恐れのない屋上への移設の方法も考えられますが相当の費用が見込まれることから、現在の位置での浸水対策を検討して、新年度予算での対応を予定しております。

4、将来のごみ処理に関する研究、検討費用について

2 広域事務組合で行っている本市の一般廃棄物であるごみ処理の状況については、経費面等を考え、将来的な解消に向け、平成25年度に総合的な検討に向けて、庁内に企画財政課、消防防災対策室、環境課で広域行政連絡調整会議を立ち上げ、情報交換を始めることとしたところであります。

当時ごみ処理施設については、中巨摩地区広域事務組合は、大規模改修に着手しているが、施設の耐用年数から勘案するに15年後の更新時期が考えられること、また、峡北広域行政事務組合は、新施設建設に動き出したが、新施設建設に伴う地元協議が難航し、事業進捗が見込めないことなどから、広域行政連絡調整会議の開催は、中断しているところであります。

なお、中巨摩地区広域事務組合においては、地元自治会の意向により15年後の施設更新が難しい状況が明瞭となり、新事業地を求めることが現実化してきたことから、中巨摩地区広域事務組合は、構成市町による検討会議を立ち上げたところであります。

本市としても、２つのごみ処理施設がほぼ同時期に施設移転をする可能性が高まってきたことから、２施設の次期更新時が、抜本的対応を明確にする時期と考えられますので、各広域事務組合の事業進捗状況等を見据えた中で、対応を検討して参ります。

５、社会福祉協議会職員人件費補助金について

社会福祉協議会の職員給与については、平成25年度に職員の給与に関する昇格運用基準を改正し、平成26年4月から人件費の改善（増額）を実施したところであります。また、職務級の拡大や在級年数の短縮により長期的にも給与の改善を図る予定であります。

また、社会福祉協議会としても、昨年度策定した「経営改善計画」に沿った人材育成にも取り組むと共に、今後は人件費等を組み込んだ国等の補助事業を受託し、人材・人件費の確保に努めることとしております。

６、下水道整備事業について

下水道事業の整備状況は、平成27年度整備予定面積は11.3ヘクタールで整備済予定面積は1198.6ヘクタールとなり、全体計画面積に対する整備率は67.5%を予定しております。

ただし、平成27年度に全体計画面積を23.4ヘクタール拡大させ、1799.7ヘクタールとなりますので、整備済み予定面積に対する整備率は66.6%となる予定であります。

さらなる整備面積の拡大については、一般会計からの繰出金の増大、起債償還額の増大など難しい問題がありますが、整備促進に向け引き続き、最大限の対応をして参ります。

７、イベント事業の見直しについて

現在開催している本市のイベントは、「わくわくフェスタ」については郷育の場・市民交流の場として、「おみゆきさん」「大弐学問まつり」については地域文化の継承を目的に実施しているところであります。

「わくわくフェスタ」につきましては、平成28年度で第10回の節目となりますので、例年通り開催し、翌年度以降の開催については、検討して参ります。

なお、この3つのイベントのほか、市で開催しているイベント自体については、内容、コスト面も含めて検討して参ります。